

「人間関係づくりの演習と道徳⑥」

～もっと友だちを知ろう～

土田 雄一



1 「自己紹介」の工夫をしよう

今回は、新年度や席替えのときの「自己紹介」に有効な演習を紹介する。自己紹介は、聞いている側が「受け身」になり、以前から知っている友だちだと「知ってるつもり」になりがちで関心が薄くなることがある。そこで、聞く側も「能動的」になり、「意外な一面」を発見できる人間関係づくりに役立つ自己紹介の方法を紹介する。(保護者会での自己紹介や職員間での自己紹介にも応用できる。)

2 「花より団子」〇×クイズで自己紹介

シートの設問に沿った「好きなもの」の紹介は比較的抵抗感の少ない自己開示である。話す側も聞く側も回答しやすい。聞く側は「似ているな」「違う好みだな」と自分と比較しながら聞くことができる。下記のようなシートを作成して、子どもたちに配布し、グループで実施するとよい。

やり方を知ってもらうために、はじめに「担任」がモデルとなって全員でやってみるとよい。後半、

本人が出題するのも楽しい。また、正解を発表するとき、「〇×ボード」があると盛り上がる。百円均一店に10枚入りで販売されている。意思表示のアイテムとして、他教科でも活用しやすい。オススメアイテムである。



3 「肯定的リアクション」をルールに

「花より団子」〇×クイズは、本人が答えたものが正解である。だから回答は否定されないし、否定してはいけないものである。予想と異なっても「あー、そうだったんだ」「なるほど、いいねえ」などの「肯定的リアクションをとること」をルールにすることを、始める前に確認しておきたい。感じたことを表現しても尊重される学級風土をつくることにもつながる。

4 「知ってるつもりビンゴゲーム」で再発見

5年*「家族の紹介」の後半に「家族知ってるつもりビンゴゲーム」のシートがある。「家族をよく知るため」に作られたものであるが、「家族」を「先生」や「友だち」に置き換えても楽しく人間関係づくりができる。特に持ち上がりのクラスにはオススメである。ビンゴの「質問」を実態に応じて工夫すればよい。自己開示や他者理解が促進される。

5 道徳の資料と関連させて

資料への導入としては、5年*「家族の紹介」につなげることができる。友だちの意外な一面を知ることを「家族の意外な一面」へと関連させることもできる。ねらいに関連する資料としては、5年*「短所も長所」や4年*「ブラジルからの転入生」が考えられる。演習から友だちの好きなものや意外な一面を知ることで、それぞれの感じ方やよさを尊重しながら仲間づくりをしようとする気持ちをもつことにつながるだろう。仲間づくりの第一歩は「知り合うこと」から始まるのである。

*『ゆたかな心』(光文書院)掲載資料

さん「花より団子」〇×クイズ
名前 ()

みなさんは、いっしょに勉強したり、遊んだりしている友だちのことをどのくらい知っているでしょうか。好きな遊びは？好きな給食は？好きなアニメは？……。意外に知らないかもしれませんね。そこで、「〇×クイズ」で友だちのことをもっと知りましょう。

○やり方

- ①予想をする友だちを決めます。 → に名前を書きます。
- ②まず、「予想」に〇か×を書きます。
- ③次に自分はどうか、「自分の答え」を〇か×を書きます。
- ④ さんの「本当の答え」を書きます。(本人から聞きます)

<input style="width: 50px;" type="text"/> さんは…	②予 想	④本当の答え	③自分の答え
例) ごはんよりパン (が好き)	(×)	(○)	(×)
1 犬より猫	()	()	()
2 国語より算数	()	()	()
3 カレーよりあげぼん	()	()	()
4 「ドラえもん」より「名探偵コナン」	()	()	()
5 リんごよりみかん	()	()	()
6 ケーキよりアイスクリーム	()	()	()
7 電車より車	()	()	()
8 _____	()	()	()
9 _____	()	()	()
10 _____	()	()	()

※ 8～10は、本人に問題をだしてもらいましょう。

◎やってみた感想

※上記ワークシートは、弊社webページからダウンロードできます。
「TOPページ」→「資料室/光文書院の情報誌」→「子どもの道徳/2013年」